まちづくり達成状況報告(総括シート)

① 総合計画上の位置付け

施策の大綱	Ⅵ 産業振興
施策の目標	1. 産業間の融合により、6次産業化を進める 2. 環境と共生し、付加価値を生み出す農業を育てる 3. 雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する



② 施策と関連部署

施策	内容(関連シート No.)	関連部署
アグリサイエンスバレー ・道の駅常総	 ・アグリサイエンスバレーの推進(No.99) ・道の駅を核とした賑わい創出と観光地域づくりの推進(No.100) ・道の駅を核とした地域産業の活性化、地産地消・6次産業化の推進(No.101) ・道の駅における脱炭素化の推進(No.102) 	アグリサイエンスバレー整備課
農業	・農地の利活用(No.103)・担い手農家の育成(No.104)・環境と共生した農業の推進(No.105)・農業経営の強化(No.106)	農政課
商業	・商品・サービス提供事業者の支援、中小事業者に対する支援(No.107) ・まちの賑わいの創出(No.108)	商工観光課
工業	・企業と連携した生活環境の維持、企業立地に向けた情報発信、企業立地に対する支援(No.109)	商工観光課
企業誘致	• 産業用地の創出(No.110)	地域拠点整備課
観光•交流	・観光振興の強化、観光資源の整備、観光商品の開発(No.111) ・フィルムコミッションを通じた発信の強化(No.112)	商工観光課
雇用	・起業・創業の支援(No.113) ・雇用・就労の支援(No.114)	商工観光課

③ 主要成果指標

(※概要欄 / •:取組 →:方向性)

① 常総市内を目的地とした経路検索の回数(No.100・111)	(概要)
2021 年度実績: 4,924 回 2023 年度実績: 5,494 回 2027 年度目標: 8,800 回	・ デジタル観光・周遊マップの構築及び地域周遊イベントの実施によ
道の駅常総をはじめとした圏央道常総IC周辺施設の開業やアウトドアシティの推進などにより、市内を訪れ	り、地域周遊の好循環の創出に向けた基盤形成を進めました。
る観光客数を間接的に表している指標である経路検索回数の増加を目指します。	→ これまでの取組を継続実施するとともに、人流データを解析しながら対象的な情報発信を進め、地域周遊の促進を図ります。
② 道の駅常総の年間来場者数 (修正) (No.100)	(概要)
2021 年度実績: - 2023 年度実績: 1,862,137 人 2027 年度目標: 1,000,000 人(修正) これからの本市の観光拠点となる「道の駅常総」では、運営に民間企業のノウハウを取り入れること、周辺施設と連携したイベントを開催することなどにより誘客効果を最大化し、道の駅の年間来場者数 100 万人を目指します。	・ 令和5年4月に開業した道の駅常総は、来場者数100万人の年間目標を半年で達成することができました。 → これまでの取組を継続実施するとともに、人流データを解析しながら効果的な情報発信を進め、地域周遊の促進を図ります。
③ 市が関与するアウトドアイベント参加者数 (No.111)	(概要)
2021 年度実績: 15,536 人 2023 年度実績: 42,829 人 2027 年度目標: 28,000 人 首都圏近郊でありながら豊かな自然環境を有するという本市の強みを生かし、「アウトドアシティ」として屋外で行う体験型活動を積極的に推進することで、関係人口の拡大を目指します。	・ 吉野公園の整備やアウトドアイベント等の実施,情報発信の強化を進め,関係・交流人口の増加につながっています。 → 地域の観光スポットなどについて、磨き上げを進め、周遊ルートや体験イベントなどの造成に取り組みます。